

6月 定例会議 6/20～22

6月定例会議のあらまし

通年議会が5月から始まり、最初の定例会議を6月20日から22日までの3日間開催しました。

町から、条例改正、補正予算等が提案され、全て原案可決しました。

議員提出の意見書4件を可決し、一般質問では6人の議員が町長と教育長に考えを問いました。

新しい生活様式を踏まえ小・中学校に冷房機を設置

上：下川小学校 下：下川中学校

◆令和4年度下川町一般会計補正予算(第2号)を原案可決

今回の補正予算は新型コロナウイルス感染症対策によるもの、緊急を要するもの、決算に伴うもの等が計上され、この議案は、総務産業常任委員会に付託し審議を行いました。

主な補正内容は、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、あけぼの園で導入する見守りセンサーなどに対する操出金、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業、町内宿泊者に対してしもりんポイントを付与する宿泊プラン事業、スーパードレミアム商品券事業、感染症拡大防止に対応した店舗づくりや事業運営を支援する新しもかわスタイル導入応援事業、町内宿泊施設が企画・販売する割引商品に対し、その割引分を支援する宿泊誘客推進事業、伊東大貴選手の引退に際して功績を称える感謝状と報奨金にかかる経費、除雪ドザーのスパイ

クタイヤの購入、多目的宿泊交流施設の雨漏り改修工事です。

歳入として、西町貸付工場解体に伴う補償金を計上。3年分割の補償金総額は3670万円で、ふるさとづくり基金に積み立てます。

委員会審査の質疑では「補正予算の編成にあたり、理事者からどういった指示があったか」に対し「コロナウイルス対策に係る事業を中心に、配慮するよう指示されている」「地方創生推進交付金については、既存の予算に割り振りしながら充当するのも交付金だが、その交付金を使って町の課題、活力を生むための事業は各課から出てこないのか」に対し「本来は年度当初に計上しているが、今回は制度の見直しがあり大幅に変わったことから、挙げていた事業が採択されるかわからなかったため、一般財源として計上した事業を今回振替えとしている」との答弁がありました。

委員から「6月はどのような補正が中心になる認識なのか。修繕など出る時期

ではないため、査定する時に緊急性があるのか、しっかりと検証しないといけない」との意見がありました。

本会議での採決では全員賛成により原案可決しました。

◆議員定数と報酬について調査を開始します

6月22日、町民や社会が求める議会に意欲と責任を持つ多くの次代の担い手が参画しやすい状況と町民の負託に応えられる議会を目指すため、議員定数及び議員報酬について調査するよう、近藤議長より議会運営委員会へ諮問を受けました。今後、様々な形で町民の声を聞き、調査活動を行っていきます。



諮問書を受け取る我孫子洋昌議会運営委員長